

防災宿泊体験

6月19日（金）午後1時に震度6の地震が発生したという想定で防災宿泊体験を行いました。様々な体験をしながら集団で協力して行動したり、災害時にもあわてず行動したりする態度や心持ちを学びました。



小石川消防署大塚出張所の方がいらっしゃいました。三角巾を使った応急処置の仕方や、正面玄関では通報訓練を受けました。



←泉先生から、新聞紙を使ったスリッパと箱の作り方を教わりました。

アルファ化米とレトルトカレーで夕食を作りました。→



←朝食の乾パンと水の分け方を考える食事係の様子です。



副班長を中心に校庭でラジオ体操をしました。

→



<児童の感想>

- ・昨日と今日だけ満足な分が食べられなくてもとてもお腹が空いたので、本当に災害などに遭った人たちは大変だなと思った。
- ・食料が少ないので1つのものが貴重だということがわかりました。
- ・命を守るためには、みんなで分け合わなきゃいけないと知りました。地震はこわいことだとわかりました。
- ・危険な時は自分の命は自分で守ることが分かった。